

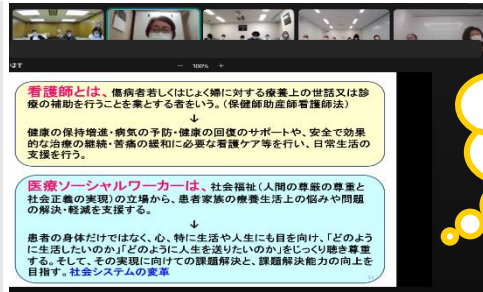
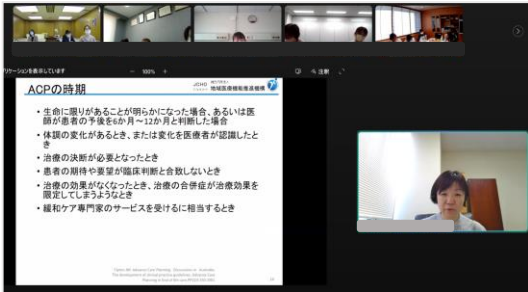
令和6年度在宅療養支援研修



【患者・家族が安心して地域で生活するための在宅療養支援に関する知識を習得し、実践に生かすことができる能力を向上する】を、目的とした研修を開催し、東日本地区管内病院より90名が参加しました。

● 講義

《医療・看護・介護施策の動向と地域包括ケアの推進》
《各専門職種在宅療養支援の実際について》 《ACPについて》
講師：副看護部長 在宅療養支援に携っている看護師
メディカルソーシャルワーカー ケアマネジャー



専門的な視点が含まれた
分かりやすい
講義内容でした。

● グループワーク 《在宅療養支援の現状》 《在宅療養支援を推進するために必要なことと私ができること》



全体で検討内容について意見交換
をしました

在宅療養支援に必要なこと・できることを検討中…



● 受講生の声

- どの講義も事例があり、看護師としての関わり方についてイメージしやすかった。
- メディカルソーシャルワーカー、ケアマネジャー、退院支援専従看護師等、様々な立場や視点から学ぶことができ、勉強になった。自部署での退院支援が充実するように学んだことを生かしていきたい。
- 退院支援にあたり、悩みや難しいと感じていることを共有する機会となった。他病院での取り組みについて参考となる内容があったので自部署でも共有していきたい。



各専門職種の講師から、事例を示しながらご講義頂き、在宅療養支援の実際をイメージしながら、学びに繋げることができた研修となったようです。
在宅療養支援を推進するために自分たちができることに果敢に取り組んでほしいと願います。